

2025年度 メリー★ポピンズ 南蒲田ルーム 事業計画書

1. 基本方針

「大人も子どもも主体的に行動し、地域に親しまれ、他の保育園の見本となる園」を目指す。

保育理念「にんげん力。育てます。」

保育目標「センス・オブ・ワンダー」「人対人コミュニケーション」

地域との継続的な交流や「にんげん力」に必要な体験・経験を生かして、試行錯誤しながら、「自分で考えて行動してみる思考」を育みます。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	日課である畑活動を通じて、食材や食の循環・環境を知る。
	実践予定内容	日々の畑活動から育てたものを保育者と一緒に調理したり、食したりする。
2	計画・ねらい	園内研修・園長大学®保育士大学・外部研修を受講して、主体的に学び続ける。
	実践予定内容	スタッフも主体的に研修を受講できる環境を整えていき、園会議で学びを共有し、スタッフ全員で日頃の保育で活かしていく。
3	計画・ねらい	子どもが主体的に行える物的環境を設定する。
	実践予定内容	ポートフォリオ、エピソード記録を作成して記録を残していく。 子どもの主体的な保育となるよう、子どものエピソードから子どもたちについて話し合い、連続性のある計画を立案していく。また、そこからいくつかの選択肢を用意し、経験を選び取れるようにしていく。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	大人も子どもも笑顔になるような綺麗で気持ちの良い施設を作る。
	実践予定内容	日々清掃を意識し、清潔感を保つ。 棚の整理整頓など、保護者から見えない所も行っていく。
2	計画・ねらい	保護者が利用して良かったと思える園を作る。
	実践予定内容	子育てに関する質問やお子様の成長に関する疑問等についての相談に応えていく。また、それを園会議や昼礼で共有し、全スタッフが一緒に考え、応えられるようにしていく。
3	計画・ねらい	日々の保育内容、子どもの成長を保護者に共有する。
	実践予定内容	タイムライン1日1枚以上の投稿を継続して行い、その日の様子を連絡帳やお迎え時に細かく共有する。ポートフォリオを作成し、玄関に掲示する。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	近隣の公園や保育園、商店街とコミュニケーションを取り、地域との交流を深める。
	実践予定内容	日々の会話でのコミュニケーションだけでなく、戸外で保育行事を行い、地域と一緒に行事や体験を共有できるようにしていく。例えば、季節の製作を外で行い、製作したものを持ち帰られるようにし、交流を深めていく。
2	計画・ねらい	青空保育やちきんえっぐの情報発信し、地域に開かれた保育園を目指す。
	実践予定内容	おたよりを散歩時に常備し、地域の方に配布をする。 門扉や児童館におたよりや活動内容を掲示する。 ちきんえっぐの活動を保護者にもお伝えし、兄弟や未就園児への参加に繋がるようにしていく。
3	計画・ねらい	保護者や地域の方などに必要とされ、選ばれる園となる。
	実践予定内容	保育園を利用していない方のために、園解放を行い、自園を知ってもらう。 園内研修にて、ロールプレイングなどの接遇研修を行う。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	スタッフ自身の保育の質向上のため、目標を明確にし、達成を目指す。
	実践予定内容	全スタッフが目標設定を行う。年2回以上施設長との面談を行い、振り返りや達成度、課題設定を行う。
2	計画・ねらい	保育園の質向上のため、研修をスタッフが主体的に受講し、学んだことを他スタッフに共有し、理解を深める。
	実践予定内容	園会議内で、園長大学 [®] 保育士大学や、外部研修などで得た学びを共有し、学びを活かして実践していく。 学び続けるために、研修を受講したスタッフだけでなく、園全体の質向上に努める。
3	計画・ねらい	スタッフ間のコミュニケーションを大切にし、計画、行事等、スタッフ皆で共有し、考えていく。
	実践予定内容	日々の子どもの姿について語り合い、子どもの姿を共有しながら、スタッフ同士のコミュニケーションを高めていく。 週1回、週会議の時間を設け、子どもの姿を振り返りながら、保育計画を共に考えていく。また、朝礼時や昼礼時に共有を行っていく。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	子どもが主体的に行える環境を作る。
	実践予定内容	子どもたちが、自分でできることは自分でできるように、スタッフ間で話し合って環境構成を考えていく。玩具や道具を自分で選択をして取り出されるようにしたり、ご飯が盛りつけられた皿を運んだり、片づけをしたり、お茶を自分で用意できるようにしていく。
2	計画・ねらい	子どもも大人も整理整頓の習慣をつける。
	実践予定内容	玩具棚に玩具の写真を貼付し、大人が使用する棚も何のものが入っている

		が、棚扉に品目を付けたり、中の物は使用頻度が高いもの、低いものなど分けて整頓していく。
--	--	---

〈6〉地域交流

1	計画・ねらい	地域を身近に感じられるようにする。
	実践予定内容	八百屋などの店におやつの食材を子どもたちと一緒に買いに行き、簡単な工程を子どもが一緒に作れるようにしていく。また、それをポートフォリオやタイムラインで記録として残し、買った店に共有しに行く。
2	計画・ねらい	地域の方との交流を行い、選ばれ続ける園を目指す。
	実践予定内容	月1～2回、児童館へ遊びに行き、地域との関わりを積極的に行っていく。

2.施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4人	9人	4人	—	—	—	17人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	2人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	0人
	パート スタッフ	3人	補助	0人	調理	0人	事務	0人
	用務	0人						

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	保育内容・子どもの様子・行事・園内研修など
給食運営会議	月1回	食育活動・献立見直し・子どもの発達など
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿の分析
ケース会議	月1回	個別支援計画を基に、対象児への支援を深める
昼礼	週1回	子どもの姿の共有、保育計画と振り返り

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	法人内統一の事案を共有、意見交換する場
施設長勉強会	月1回	法人内統一の事案を共有、意見交換する場
食育会議	年4回	施設長及び栄養士、調理師が参加し、給食業務の改善、今後の方針を話し合う場
保健会議	年4回	施設長及び看護師が参加し、園児健康管理業務改善、今後の方針を話し合う場
子育ての質を上げる会議	月1回	スタッフのスキルアップ、課題への取り組みを報告する場

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	衛生点検・保育室の環境整備
安全対策係	設備・事故防止点検、保育室の安全管理
防火管理者	設備・事故防止点検、保育室の安全管理
食品衛生責任者	衛生点検、調理室及び食品の管理
環境整備・備品係	園内外の環境整備状況の管理、備品の点検と補充
畑係	畑状況の管理、道具類の維持補充、畑活動の把握や計画
生き物係	生き物の世話、飼育計画

おもてなし係	保護者、見学者、地域の方々へのおもてなし
--------	----------------------

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
各行事	行事内容の計画・実施

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応答的に関わりを繰り返し、保育者との間に情緒的な絆が形成する。 ・ 活発な探索活動を楽しみながら、様々な感覚が育つ。
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者との安定した関わりを通じて、基本的な生活習慣も自立を目指し、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを持つ。 ・ 身近な人との安定した関わりの中で、一人遊びを十分に楽しみながら自我が芽生える。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時、希望する保護者に対し実施 ・ 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用

〈2〉年間行事計画

- ・ 2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・ 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	毎日の昼食時間が来るのを楽しみにしながら活動をする。
	実践予定内容	<p>室内やテラスといった、食べたい場所を自分で選択できるようにし、友達と一緒に食べる喜びを感じながら、食事を楽しめるようにする。</p> <p>食事が盛られた皿は自分で選択できるよう配膳を工夫していく。お茶も自分で用意できるようにし、自分でやりたい、食べたいと主体的にできるようにしていく。</p>

		日々の活動で十分な活動を行い、空腹感を感じて食欲へとつなげていく。
2	計画・ねらい	直接体験により、食材・食の循環、環境を知る。
	実践予定内容	畑仕事で様々な食材に触れ、八百屋などの訪問で様々な食材を知る。 育てた野菜を子どもたちで洗い、その野菜を使ってみそ汁を作り、おやつ作りも簡単な工程を行えるようにし、子どもたちが意欲的に食べられるようにする。 魚を子どもたちの前で捌き、命の尊さに触れる。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い指導、歯みがき指導
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 7月頃・・・手足口病、RSウイルスなど 12月頃・・・インフルエンザ、ノロウイルスなど
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	抗アレルギー剤・・・1名より預かり済み／事務室にて保管
エピペン使用できるスタッフ	現在5名が、研修受講し、修得済み 未受講者は3月キックオフミーティング時に受講予定
その他保健に関する取組	嘔吐処理、おむつ交換、与薬方法等園会議にてロールプレイを実施。 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染症予防のため、うがい指導、手洗い指導を強化。また、消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理 衛生管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日

	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
衛生管理 健康管理	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
健康管理 運営管理	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月の30日頃 歯科健診 年1回／6月
	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
運営管理 危機管理	利用者アンケート調査	年1回
	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	子どもが興味を持ち、自ら遊びや活動を始められるような環境を整える。
	実践予定内容	園会議等での子どもの姿の共有から、今、子どもにとって必要な遊びの環境を考え、設定していく。 玩具や道具を子どもたちが自由に選択して取り出せるようにしていく。 子どもたちが自分でできることは自分でできるように、食事時には盛りつけられた皿を自分で選べるようにし、おやつ時に大きさなどを変えて、自分で食べたい量を選べるようにしていく。また、お茶も喉が渴いたら自分で飲めるよう、ジャグを設置していく。
2	計画・ねらい	綺麗で気持ちの良い施設を作る。
	実践予定内容	日々清掃を意識し、清潔感を保つ。 スタッフ使用の棚に入っている物の名前をつける。取りやすいようにする。玩具棚には玩具の写真を貼るなど、大人も子どももどこに何が入っているのか、すぐに分かるようにしていく。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	避難訓練（地震・火災）月1回15日
2	実践予定内容	不審者侵入訓練 6月・12月
3	実践予定内容	事故防止チェックリスト 4月・7月・10月・1月
4	実践予定内容	設備安全点検実施 4月・7月・10月・1月
5	実践予定内容	事故記録簿、インシデント、ヒヤリハット記入・閲覧・分析
6	実践予定内容	生存確認
7	実践予定内容	光化学スモッグ注意報発令情報確認
8	実践予定内容	室内、公園、散歩ルートของハザードマップ作成、更新 4月・7月・10月・1月
9	実践予定内容	消防設備点検 消火器、火災感知器及び非常ベル、誘導灯 年1回

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

次世代育成の観点から、積極的に受け入れを行い、実習生や生徒の1人ひとりの様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。

1	実践予定内容	実習生1人ひとりにウェルカムメッセージなど、温かい受入れ体制を整え、実習担当だけでなく、園全体でコミュニケーションをとり育成していく。
2	実践予定内容	その日の気付きや疑問に対しての振返りの際、丁寧に応えていき、翌日への実習に生かせるような指導を行っていく。
3	実践予定内容	実習や見学期間だけに留まらず、地域の繋がりとして継続して交流していく。

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉2025年度 園内研修計画

（毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施）

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月18日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点	自園の子どもの姿から危険を予測する。

		② ケガ・ケーススタディ 人権チェック・虐待防止研修	子どもの権利や虐待の定義・防止を理解する。 「人権擁護のためのセルフチェック」を行い、振り返り。ディスカッション。
5月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 接遇研修 ③ 「子どものケガ」について	保護者対応、見学対応、電話対応等、ロールプレイングを通じて接遇について学ぶ。 園長大学®保育士大学「子どものケガには意味がある ～ポジティブに考える再発防止策～」を視聴、ディスカッション。
6月20日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿と環境構成 ③ 水遊びに向けての研修	エピソード記録を通して、子どもの姿の共有、主体的に活動できる環境を考える。 プール遊びに向けて、水遊びの危険性についてディスカッション、ロールプレイング。 熱中症予防について
7月18日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 「運動遊び」について	園長大学®保育士大学「生きる力を育む「運動遊び」理論編」を視聴、ディスカッション。
8月15日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの姿と環境構成 ③ さくらさくらんぼリズム体操	エピソード記録を通して、子どもの姿の共有、主体的に活動できる環境を考える。 さくらさくらんぼリズムの意識するポイント理解、実技。
9月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 「保育と自然」について	園長大学®保育士大学「保育と自然を未来志向で考えてみよう～飼育・栽培・さんぽどうしてる？（散歩編）」を視聴、ディスカッション。
10月17日	18:00～20:00	③ コンピテンシー自己採点 ④ 虐待防止研修 ③ 衛生、保健研修	「人権擁護のためのセルフチェック」を行い、振り返り。ディスカッション。 感染症対策、対応について。オムツ交換、嘔吐処理、与薬方法ロールプレイング。
11月21日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 「咀嚼・嚥下・舌」について	園長大学®保育士大学「保育士に学ぶ！口腔機能の育み方」を視聴、ディスカッション。

12月19日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 今年度の振り返り（係、行事）	今年度を実施した行事の振り返り クラス、保育者、係での反省と課題の抽出。
1月23日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 今年度の振り返り（保育内容）	保育の振り返り。 事業計画、園目標の振り返り。
2月20日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 第1回策定会議	次年度の保育計画、園目標の検討。
3月1日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 第2回策定会議	次年度の年間計画の作成。

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デンマークインターンシップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

青空保育やちきんえっぐなど、保育活動の情報発信を強化する。地域との繋がりを広げていく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細
どろんこ祭り	年1回 集客目標：30名
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：本町二丁目公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	近隣老人福祉施設、日の出商店街（ひので庵）
異年齢交流	系列園や近隣保育園、近隣小学校、児童館との交流
地域拠点活動	青空保育、園開放、ちきんえっぐ、子育て相談
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

該当児なし

近隣小学校との異年齢交流としての可能性を探っていく。

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

対象児童在園時において、個別に保育計画を作成し、家庭や関係機関と連携しながら、計画的・継続的に一人一人に応じた保育内容や配慮を実践する。

〈2〉毎月のケース会議開催

対象児童在園時において、月1回実施。また、担当スタッフを選定し、全スタッフ参加で行う。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

乳児のみ入所対象となるため、必要に応じて実施。

11. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(金) 9:30～16:30 集客目標：20名
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30 集客目標：20名
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：本町二丁目公園にて開催 集客目標：20名

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

株式会社学研データサービスに依頼して2024年度10月受審済み

〈2〉園による自己評価の実施

2025年9月19日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：17時00分

自己評価終了予定時刻：18時00分

自己評価実施予定者：全スタッフ

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

13. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	子どもだけでなく、スタッフも自分で考えていき、試行錯誤しながら、主体的な環境を作っていく。それにより、自分でできることは自分でいい、「生きる力」を育む。
-------------	------	--

		商店街などの地域交流を通し、繋がった縁を深めていく。公園などで保育行事などを行い、地域の方も参加できるようにしていく。
	振り返り	<p>スタッフ自身で主体的な環境となるよう、試行錯誤して室内環境を定期的に変えたり、スタッフ間で相談しながら変えたりしていくことができた。</p> <p>また、地域交流としては、公園などで保育行事を行うことはできなかったが、児童館へ行ったことにより、その繋がりで、自園の保育行事に地域の方が参加して下さった。</p> <p>引き続き、主体的な園を目指し、地域の方との交流を多く行い、保育行事に参加しやすい環境を作っていく。</p>

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	地域に親しまれる園となる。積み重ねた保育記録を公開することにより、地域に知れ渡り、他の保育園の見本を目指していく。
	重点施策	<p>今までに作成したポートフォリオなどの保育記録を公開し、地域の認知度を上げていく。</p> <p>商店街ツアーや、青空保育、子育てサロンなどの広報を行っていく。</p>
2026年度	目指す姿	地域の人たちと共に子どもたちの成長を見守れる園になる。
	重点施策	商店街や児童館など地域一体となり、子どもたちの主体的活動や成長を見守れるよう、日々の保育へ巻き込んだり、園と保護者、地域と共に行事を開催したりしていく。
2027年度	目指す姿	園と地域が共に子どもたちを保育する園を目指していく。
	重点施策	継続して商店街、児童館、地域の学生など、皆が一緒に日々の保育に携わり、地域全体で子どもたちを保育していく。また、その記録もポートフォリオなどで行っていく。

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 南蒲田ルーム 施設長 森井 俊行